

銚田市商工会青年部会報



微 明

No.35 平成 26 年度版
発行日 平成 27 年 3 月 31 日
編集者 銚田市商工会青年部会報委員会
発行者 銚田市商工会青年部
銚田市長 田上隆生
銚田市 銚田 2482-1
TEL 0291-32-2246

Contents(目次)
P1. 銚田にぎわい祭り「ハロウィンロード」発刊にあたり
P2. 絆プロジェクト・研修旅行 花火大会・鹿行キッズカップ
P3. うまかつフェスティバルミネーション 銚田マラソン・市長との懇談会 野球大会
P4. 新入生・卒業生紹介

銚田にぎわい祭り「ハロウィンロード」

山崎 順 司

「俺たちが小さい時にやってきた歩行者天国ってめちゃ楽しかったよねー未だに思い出に残っているよー」
「きっかけはこの一言から始まった。」

震災後、空き地・空き店舗が多くなってきた銚田市内に少しでもにぎわいの風を送りたいという思いと、私達が子供の時に体験した青年部のお祭りがいまだに心の中に残っている。そのようなイベントをまた銚田の中心地で歩行者天国にして青年部の仲間達でやってみようという思い！これが初めての一步でした。

平成二十六年十一月一日(土)十時から十五時まで銚田市商工会青年部が主催となり銚田ふれあい通り約二百メートルを歩行者天国にして第一回銚田にぎわい祭り「ハロウィンロード」が開催されました。

当日の天候はどんよりと曇り空、今にも雨が降りそうな天候でした。午後からは雨が降り出してしまったのですが、

オープニングセレモニーは銚田第二保育所・とりのす保育園の園児による鼓笛隊の演奏が元気に始まり、にぎわい祭りの幕が開かれました。

今回のサブタイトルは「ハロウィンロード」です。歩行者天国の区間をハロウィン一色に染めて会場をレイアウトしました。

銚田市内の保育園・幼稚園の園児達に協力して頂きハロウ



のぬり絵大よそ一千枚が会場一面に華やかに飾り付けられました。また、仮装した来場者が仮装した青年部員や出店者に「トリック・オア・トリート」と呪文を唱えらるとお菓子がもらえるので仮装した青年部員や出店者のテントの周りには人だかりが出来ていました。
今回、銚田市内の商工会員、異なる団体・個人・近隣商工会青年部の方々にテント内で出店のご協力を頂きました。飲食・美容・雑貨販売と大盛況でした。イベントでは、カブトムシロボット・ファーフア・高所作業車の実演。ステージではハワイトベリーのライブ、懐かしの歌を数曲歌って頂きました。最後は名曲「夏祭り」を会場のお客様と一緒に大合唱。
また、銚田市内ダンススクールによるキッズダンスの披露も

行われ雨の中の会場を盛り上げて頂きました。

イベント最後にはメインイベントの青年部恒例餅まきを行いました。今回は場所の都合で高所作業車からの餅まきでしたが多くの方に参加して頂き無事ににぎわい祭りを締めることが出来ました。

今回のイベントは、青年部として十年振りに道路を通行止めにして行う大イベントでした。私は実行委員長としてにぎわい祭りの責任者でしたが、開催までの準備はゼロから色々と決めていかなければいけません。多くの困難がありました。全面通行止めの許可は大丈夫か？イベントは何をする？交通誘導員の配置は？テントの配置や設営は？駐車場は？イベントの予算は？等々

改めてOBの方々が行って頂いた銚田フェスティバルの姿を肌身で感じました。しかし、実行委員会の会議を重ねていくうちに、漠然としていたものが段々と具体的な形となっていました。

今回のにぎわい祭りのターゲットは子供。お子供が楽しんでもらえる様な会場作りとイベントもまた、ご家族やご友人と来場されても長時間滞在して頂けるようなイベントを考えました。

にぎわい祭り開催後、色々な方から、「とても楽しかったよ」「子供が来年もまた行きたい」「とありがたいお言葉を頂きました。まさに私どもが初めて考えた心に残るイベントを行いたいという気持ちが少なからずとも来場して下さった方々に感じて頂けた事は感無量です。

今回、イベントを開催する上で多くの方々にご協力を頂きました。



銚田市商工会会員の皆様、女性部・青年部OB・同友会・銚田市役所・銚田市金融団・銚田市内各種団体・近隣住民の皆様には色々なお願い事からご協力まで本当に有難うございました。
また、実行委員会の皆様・部長・副部長、色々決める時に大変でしたが今ではいい思い出です。本当にお力添え有難うございました。今回第一回銚田にぎわい祭りの実行委員長を務める事ができ自分自身とても勉強になりました。
青年部員の皆様におかれましては準備期間から当日・後片付けまでご協力ありがとうございました。今まで経験した事が無い大イベントだったので、当日バタバタしてしまい、うまく伝達事項が伝えられませんでした。その中でも、会場設営・撤去は素晴らしいと思いが、警察署から与えられた僅かな時間の中でテントを設営し撤去して、青年部員で協力し合えた事本当に嬉しく思い、感謝の気持ちで一杯になりました。
青年部員皆様のご協力のお蔭でお客様から喜ばれるイベントが出来たと思っています。しかし、今回のにぎわい祭りでも多くの修正箇所も出てきました。その部分も踏まえて、来年度は、更に素晴らしい来場者に喜んで頂けるイベントが出来るように皆で銚田市商工会青年部を盛り上げていきましょう！
本当に有難うございました。

発刊にあたり

青年部部长 田上 隆生
まず初めに、今年も微明発刊が出来ましたこと、心より感謝申し上げます。

この微明は旧銚田町商工会青年部時代から現在に到るまで、三十五年の長きに渡り「伝承」し続けた「伝統」的な事業。今年度も広報委員会を筆頭に、青年部員、事務局の協力のもと、無事に発刊出来ました。

さて、部長職を拝命してから早二年が過ぎようとしておりますが、長いようで短い二年間で何をすべきで、何を伝えたいのか。試行錯誤の二年間を過ごし、まだまだやりたいことが多数ありましたが、今後は一部員として青年部に尽力をつくしてまいります。
私が部長を務めた二年間に関して言えば、定例会で行っている部員による事業所紹介や勉強会などを通して、部員間の業種を超えたお付き合いや、新たな繋がりが生まれ、また小規模事業者を応援する「ミラサポ」持続化支援を多くの部員が活



用。意識改革を図り、経営の改革や進化に役立てました。
また青年部主催の事業、銚田にぎわい祭り「ハロウィンロード」が商店街の皆様や商工会員様の多くのお力添えにより無事に開催されましたことを、改めて御礼申し上げます。多くの部員が歩行者天国のイベント経験がないため、準備段階から苦戦の連続でしたが、良い経験につながったと思います。

さらに新しい事業として、昨年末に商工会員の皆様のお手元に届いております、青年部事業一覧ポスターカレンダーを作成いたしました。銚田市単体の事業のみならず、全青連、県青連、鹿行の事業にも積極的に参加し、いきいきとした表情を見せる部員達の表情が印象的なポスターに仕上がりました。このポスターカレンダーが青年部員の増加に繋がってくれたらとも考えておりますので、商工会員の皆様、事業所の目立つところに掲示して頂けますよう、よろしくお願いたします。

この二年間、多くの経験と人との出会いがありました。この経験を家業に生かし、お客様の為、地域の為に貢献していきたいと思っております。最後になりましたが、私を支えてくれた副部長、委員長、部員の皆さん、本当に感謝の気持ちでいっぱい입니다。
今後も「為せば成る、為さねば成らぬ何事も」を念頭に、青年部、銚田市を盛り上げていきましょう。



ありがとうございます。

### 絆プロジェクト2015

児嶋 剣丈

平成二十七年二月八日、県青連の事業、「絆プロジェクト2015」が開催されました。この「絆プロジェクト2015」とは、茨城県内の全単会から一人ずつ青年部員が実行委員として参加し、青年部による青年部のための物産展、研修会、交流会を開催するという事業です。

十月三十日に第二回の会議が水戸市内原商工会にて行われました。県内の六ブロックを三チームに分け、各チームは県青連のスローガンである「共進力」の文字ずつを振り分けてチーム「共」「進」「力」と命名されました。

鹿行地区は県南地区と同じチームになり、研修会を担当することになりました。鹿行地区のメンバーは年間通して何度も集まる機会がありますので既に見知った仲ですが、他の地区は日頃あまり交流する機会がないため初めて顔を合わせたメンバーもいます。その中でどうやって進めていけば良いのだろうかと不安がありました。

しかし、その後チーム「共」の会議と懇親会を龍ヶ崎市、鹿嶋市、稲敷市と重ねていく内に徐々に打ち解け、進行も早くなってきました。講師選びから日程調整、会場視察、段取りは順調に進んでいきます。チーム「共」の懇親会で案が出た各単会で短い動画を撮り、それをつなぎ合わせて本の動画にする「ハッピー絆」制作も交流会チームが受け持つ進めてくれることになりました。

そしていよいよ事業当日。午前十時に水戸駅コンコース内の物産展からスタートです。全部で十二店舗の出店ですが、そのうち二店舗は銚田市商工会青年部、鈴木

淳くんの洋菓子店アンファミーユです。銚田の部員達は鈴木君の応援のために十時から集合し、その応援のいかもあつて品物はすべて完了しました。

そして午後二時から研修会です。講師には水戸の鬼沢慎人さん、全青連の宮本博史会長のお二方をお招きし、二部制にいたしました。お二方とも青年部員にとって非常に勉強になる素晴らしい講演をしていただき、私自身は代表で宮本会長に謝辞を述べさせていただきました。

午後六時から交流会。イベント目白押しで大いに盛り上がりました。最後に「ハッピー絆」を流し、実行委員の紹介と委員長挨拶で閉会となりました。

この事業を終え、初めて出会う茨城県内のメンバーと一つの事業を大成功させるという目標に向かって一致団結し合えたことは、私の財産になりました。またその大成功も部員全員の協力がなければ決して成り立たなかつたと思います。かけがえのない仲間が出来た、まさに「絆」の名にふさわしい事業だと思えます。この体験を今後は青年部活動、また家業に役立てていきたいです。

最後にこの様な事業を用意して頂いた県青連の皆様、実行委員の機会を与えてくれた部長、講師のお二方、実行委員、全部員、関係者の皆様、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。



### 研修旅行

仲田 雅人

「おはようございます。」部員の声が入ります。響き渡る。

毎年恒例の青年部研修旅行が始まりました。今回は仙台方面に総勢二十名で行ってきました。親睦委員長としてこれほど大勢の部員が参加してくれた事に、とてもうれしく思いました。

天気は快晴。車中は絶えず部員達の笑い声あり、おすすDVDを見て、涙ありとあつという間に仙台市に入っていました。

まずは、サッポロビール仙台ビール園にて、昼食。有名な牛タン&ジンギスカンを食べ、次に青葉城の伊達政宗像の前で記念写真をとりました。この時、銚田では体験することがないほどの猛吹雪に見舞われました。部長の力だと先輩たちは言っていました。なので、写真は笑顔というよりは睨みつける顔になっていて、良い思い出になりました。

観光も足早に切り上げ、旅館にむかいました。創業400年の老舗「岩沼屋」にお世話になりました。体も冷え切っていたので早速温泉に入り、二日目のメインである夜の宴会にのぞみました。

宴会では先輩方の熱い話が聞けたり、カラオケで普段聞けない部員たちの美声も聞くことが出来ました。とても有意義な時間を過ごすと共に、若い部員たちも、親睦を深めることができ喜んでくれたのではないのでしょうか。

私はうれしいことがありました。先輩方から旅行の企画を褒められ感謝されました。気分を良くしてお酒の量も多くなり、同時に記憶の方もあいまいになつていったの言うまでもありません。二日目は午前中津波の被災地見学に行きました。場所は、東松

山市野蒜(のびる)地区というところ。地元のガイドの人をバスに載せて案内してもらいました。震災での地震は震度6強で銚田市と同じと聞きました。被災地を見て自分の目を疑いました。何もないんです。

ガイドさんが説明してくれる場所(海岸から1キロも離れていない場所)は、雑草が生えている原っぱなんです。

「ここに住宅地がありました。そこにお寺がありました。人がいづばいいんですよ。」言葉がでませんでした。津波があるかないかでここまで違うものなのかと。正直、想像を絶する光景でした。(野蒜地区では津波が10m観測されています)

一番印象に残っている言葉があります。僕たちが津波で大変でした。僕たちが津波で大変でした。津波が3mもの壁がせまってきた。流木や家や車が押し寄せてくる壁がたてそです。

被災地の事を報道するテレビや新聞は減ってきました。僕も被災地の現状や復興を自分の目で見て、話を聞き初めて分かったことがあります。

復興なんてしていません。何もなくなっただけです。流木をどかし、車を移動させ、瓦礫を運んだだけです。今でも、少し高い波が立つと瓦礫が打ち上げられるので海水浴は出来ないとも言っています。

あれから、もうすぐ4年です。これが現状です。他の地域はどれくらい復興しているかわかりませんが、僕らが見てきた野蒜地区は今からです。これからが本場の意味での復興支援だと強く思っています。

ガイドの方は、つらい事だけでなく良いこともあったそうです。復興していく中で、子ども達の中に感謝する気持ちができたと言っていました。そして、その子ども達と復興に頑張っていくと力強い言葉もおっしゃっていました。

次に仙台研修旅行も最後の目的地、松島に行きました。ここで昼食をいただき、牡蠣鍋、牡蠣フライ、焼き牡蠣など牡蠣三昧で旅行を締めくくりました。

今回の旅行では、笑いあり、涙あり、感慨深い事もありました。やはり自分の目で見て、感じて、これからの自分の糧になるものがたくさんあったのではないのでしょうか？

部員の絆もより強くなったと確信しています。これからの青年部の活動に二期待ください。



### 花火大会について

菅谷 秀仁

平成二十六年八月十六日、お盆休みの時期に銚田市花火大会が行われました。

花火大会当日よりがんばった準備のことについて書きたいと思っています。

平成二十六年八月二日、真夏の暑い日差しの中、銚田市花火大会の準備のため、銚田市商工会青年部員達で花火大会会場の草刈り等を行いました。

各部員がトラック、草刈り機、ユンボなどを持ち寄り、午前中であらかた終えることが出来ました。

やはりみんなが経営者もしくは家業を行っているだけあり、指示待ちではなく、自らゲンゲン動いて、短時間ですばやく終わらす一体感青年部ならではのなと思えました。

ちなみに、草刈り当日は、青年部の田上部長は不在でありましたが、各自自力行う作業を声を掛け合い連携して動いていたと思います。

花火大会当日は、午後は雨がぱらつき、花火があげられるか心配しましたが、夕方は天気も良くなり、お客様みんなが楽しく花火を見られて本当に良かったと思えました。



### 鹿行キッズカップ2014

大槻 幸之助

第十一回商

工芸青年部ブレゼント鹿行キッズカップ2014が十一月八日に行われました。

第十回は実行委員長をさせて頂き、今回は副実行委員長で参加させていただきました。

銚田からは実行委員会に自分を含め四名、当日のアシスタント四名の計八名が参加しました。

自分は今回で副↓長↑副の三年サイクルが終わるので、次に繋ぐ為部長にお願いし、若い部員に参加してもらおう事にしました。

毎年積み重ねてきた継続事業だけに、準備段階の会議はスムーズそのものでした。

本番当日は天候にも恵まれ、鹿行五市の小学生十チームが元気よくサッカーを楽しみました。我が銚田市は今年から選抜チーム制となり、銚田レッド、銚田ブルーの二チームが参加しました。

結果は神栖市トレンセンレッドが優勝、鹿嶋トレンセンが準優勝となり、銚田は県大会出場を逃しました。神栖、鹿嶋が別次元のサッカーをしている感がありますが、銚田も優勝を目指してこれからも頑張りたいです。

片づけが終わるともう一つのお楽しみである懇親会です。毎回夜遅くまで反省をしながら、楽しく鹿行の懇親を深めます。

今回は、銚田の若い青年部員に多数参加して頂き、鹿行ブロック事業を体験出来ました。

この経験を糧に、これからも銚田、鹿行、そして茨城の為に皆で頑張りたいと思います。ありがとうございました。



# 銚田うまかつペフェスタ'14

中城 光広

平成二十六年十月「銚田うまかつペフェスタ'14」が鹿島灘海浜公園にて開催されました。

今回私たち、商工会青年部では、テントを二張りお借りして「ほこまる似顔絵コンテスト」と緑日コーナーとして「金魚すくい」「サイコロを振ってお米をゲット」等、会場に来て頂く子ども達を楽しませられるような企画を提案し出店致しました。

前年のような主催側のお手伝い等は無かったので、初期の準備の段階では、部員のなかでも正直あまり熱が入らないような状況でした。

私事ではありますが、私は今回初めて、商工会青年部での「銚田うまかつペフェスタ」担当になったこともあり、不安感が強く余裕をもてない状況でありましたので今振り返ってみるとイベントに対しネガティブな印象であったことは、他でもありません。

しかし、季節が夏から秋へと変わりイベントが近づくにつれ部員のみならずも徐々に行動力を加速させていき、いつものやる気と情熱に満ちあふれた雰囲気になっていき、私の不安感もいつのまにか消え「絶対成功させよう」という思いで自信すら感じられた次第です。

そして、商工会青年部の諸先輩方や銚田市商工会の職員の方々、準備をする際の業者様等様々な方達の智慧をお借りして本番当日を向かえました。

いよいよ「銚田うまかつペフェスタ'14」一日目が開催です。前日の天気予報は、少々不安

な予報ではありましたが、当日は見事に秋晴れ。絶好のイベント日和です。

開催と同時に続々とお客様がご来場され、各ブース共に長蛇の列が並び、私達のブースも大盛況となりました。

「ほこまる似顔絵コンテスト」では子ども達は、皆真剣そのもので、個性豊かな似顔絵が次々と張り出されていきました。

緑日コーナーでは子ども達はもちろん、親御さんまでもが笑顔で楽しんでる光景が今でも目に焼き付いております。

そして何よりも、一番楽しんでいたのは私達、商工会青年部だったでしょう。

忙しいながらも、私達は笑顔を抑えず、明るく元気に対応していく中で部員達の絆もより一層深まり、最高のおもてなしをできたことが楽しくて仕方無かったです。

二日目はあいにくの曇り、夕方からは雨でしたが、来場者は止むことなくこの日も大盛況となりました。おかげさまで、準備した物はすべて無くなり、大成功に終わりました。

二日間に渡り実施した、「うまかつペフェスタ」の経験を生かし、来年も来場して頂くお客様様の更なる笑顔が拝見できるよう、頑張っていきたいと思っております。



# ほこたガーデンイルミネーション2014

坂口 弦太

このたび商工会を主とした「ほこたガーデンイルミネーション2014」を無事終えることが出来ました。商工会の皆様、青年部員の皆様の御協力のもと成功出来たものと思っております。

私達青年部は十一月十七日の定例会議のとき、今年のイルミネーションの設置の話聞き、「銚田市をこのイルミネーションで明るくし、笑顔を作る事業」をスローガンにあげ設置協力をする事になりました。点灯式までの二週間、急ピッチに作業が始まりました。

昨年使用した機材の点検から始まり、デザインの合わせ、電装の色合いの調整など皆様方の意見を聞きながら設置が進んでいきました。

色々とトラブルもありました。設置前に点検して点灯した機材が設置後に点かなくなりや直したりもしました。それでもみんな愚痴も言わずにときは

きと設置が進み、十一月二十八日の当日を向かえることが出来ました。

点灯式当日になってのトラブルもありました。それでも色々な業種が集まっている青年部。すぐに駆けつけて頂き、原因を突き詰め無事点灯式を向かえられました。

私は十七時の点灯係でした。カウントダウンが始まりいざ点灯というときにスイッチが合み合わず、点灯しないというトラブルもありましたが、見に来て頂いた皆様の歓声、喜ぶ笑顔を見聞きしたときの私の気持ちは言葉にならない位嬉しかったのです。最後に、点灯式を盛り上げて頂いたコーラスの皆様、ハウアンダンスの皆様、模擬店出店者の皆様、ありがとうございました。多くの人が感動や安らぎを与えられる事業が出来たと思います。

そしてこれからも銚田市をもっと明るく、活性化出来る様な事業を青年部一同企画していきたいと思っております。

## 銚田マラソン大会

長峰 雄一

平成二十六年十二月二十一日、快晴の空の下、第十回銚田マラソンが開催されました。今回は、第十回の記念大会として従来の十キロコースから距離を伸ばしハーフマラソンが設けられ、約二千三百人のランナー達が銚田市内を駆け抜けました。我々青年部は毎年恒例の豚汁

無料配布の為、早朝五時半に集合し、豚汁作りを開始致しました。山口君は嫁さんに仕込まれていてののか、見事な包丁さばきを披露。こんなにやがるで手でちぎったようなナチュラルな形に切られていました。

味を調えるのは料理は得意だと自負するなんでも屋、坂口君。まるでどこかで修業でもしてきたかのような仕上がりに、部員一同、居酒屋でも開いたらいいのにと口を揃えて言っていました。

そうこうしている間にランナー達がぞくぞくとゴールしてきました。次から次へと豚汁を求めランナーたちに部員達もフル稼働。全ての豚汁を配り終えるころには、最終ランナーもゴールイン。無事に役目を終えました。

## 市長との懇談会

山口 崇徳

平成二十七年二月四日、銚田市商工会館において市長との懇談会が開かれました。今年も昨年同様、事前に質問を渡し、当日市長がそれについてお話するという形をとりました。

まず一つ目は市民交流館(仮)についてです。市民交流館建設にあたるこれまでの経緯と進行状況、また建設する意義や費用の問題などを詳しく説明して下さいました。

二つ目は銚田にぎわい祭りについてです。部員のほうからにぎわい祭りについて開催した意図や当日の様子、反省点などを話したところ、今後も継続して開催したほうが良いということや、祭りの宣伝、PRについてアドバイスをいただきました。

三つ目は婚活事業についてです。銚田市でも以前は婚活事業を行っていたようですが、思うように成果が上がらず中止し、現在では婚活事業を行う団体に補助金を出すという形をとっているそうです。銚田市のみならず日本全国で少子高齢化が急激に進んでいることに市長も懸念を抱いているようですが、結局は結婚も個人の価値観の問題なのでなかなか難しいとも言っていました。

銚田市を元気に、より良い街にしようと我々青年部も頑張っていますが、その先頭に立っているのが市長です。今回市長のお話を聞いて、皆何か感じたこと、見えてきたことがあったのではないのでしょうか。私自身、微力ながら銚田市の為に、家業、青年部活動を頑張ろう、そう思えた懇談会でした。

## 鹿行野球大会

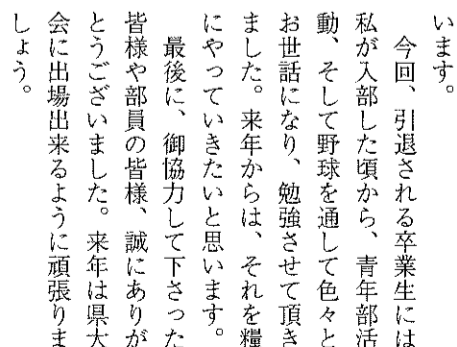
真家 吉貴

今年も野球大会が行われました。今回は、鹿行の予選を勝たないと県大会には出場できません。初戦は何とか勝つ事ができましたが準決勝は、鹿嶋市商工会青年部です。戦力的に劣る銚田市青年部でしたが、逆転につぐ逆転のすばらしい試合でした。結果、最終回に逆転され、サヨナラ負けでした。

県大会には出場できませんでしたが、皆、精一杯やっと思っております。

今回、引退される卒業生には私が入部した頃から、青年部活動、そして野球を通して色々とお世話になりました。勉強させて頂きました。来年からは、それを糧にやっていきたいと思っております。

最後に、御協力して下さいました皆様や部員の皆様、誠にありがとうございました。来年は県大会に出場出来るように頑張ります。



# 卒業 おめでとうございます

 祝 飛田製菓 飛田光胤	 祝 (有) 旭運輸 土子仁志	 祝 (株) 荒佐 荒野文孝	 祝 内山建設 内山智之	 祝 コストア大洋大蔵店 勢司達也
 祝 (有) マルトウ青果 東峰真紀	 祝 インテリア小沼 小沼秀樹	 祝 (有) マシンナイフ 北島貴徳	 祝 市丸食堂 小沼広二	 祝 サインボード・レーベン 飯塚公生

## 卒業にあたり

勢司 達也

銚田市商工会青年部が合併してはや六年、卒業の時を迎えようとしています。

私が入部したのは二十七歳の頃、まだ大洋村商工会青年部だった時でした。銚田在住ながら大洋で事業を始めたばかりの私にとって顔見知りも少なく、少しでも顔を広め事業に役立てればというきっかけでした。当時の事業といえば、村と商工会で力を合わせて行った産業祭です。多くの人達で会場が賑わっていたのを思い出します。

そして三町村の青年部が合併して銚田市商工会に生まれ変わりました。総勢八十名を超える大きな青年部となりました。この大人数をまとめる執行部は大変な御苦労をなさっていたと記憶しています。

合併三年目より小橋部長のもと、副部長を任せられ、微力ながらも尽力させていただきました。人をまとめることの大変さを身をもって知りました。初年度の青年祭は初めて海浜公園で行い、天候不順、自分達の未熟さも重なって失敗してしまいました。それでも、次年度のうまかつフェスタに活かしていきたいと思えます。またこの年から県内の青年祭や県外活動にと対外的なPR活動が増え、参加できなかったことも多く迷惑をかけてしまったこともありました。

この青年部活動で多くの仲間と出会うことができました。また家業ではできない体験を数多くさせていただきました。仲間と出会い、そこから多くのことを学び、様々な体験を通して成長させていただきました。

卒業しても、皆で銚田市を盛り

## 平成二十六年 新入部員紹介

 大洋設備工業 (株) 茂木一高	 大貫工業 大貫謙三	 アンファミリーユ 鈴木淳
 ヨコタ基礎工事 (株) 横田一步	 スガヤ 菅谷敏夫	 うまごや 坂口弦太
 (株) イシザキ 高須淳	 ラウンジエイト 小野瀬ゆみ	

### 求む!!

新入部員

私達と青年部活動をしてみませんか

銚田市商工会青年部  
iboraki

### 編集後記

今回の微明は作業日数が少なく、バタバタとした編集作業になりましたが、無事に発刊することが出来ました。

広報委員を初め、部員、事務局の皆様、御協力ありがとうございました。

(雄一)

